

かすみケアグループの情報をお届け

Wa!

vol. 47
2022 Summer



巻頭言

“もの忘れ外来”を開始
高齢者診療にも注力しています……………2

健康のキホン

使った患者さんに実際に効果が！
**バーチャルリアリティを
利用したリハビリについて……………6**

認知症を理解する-シーズン2- 第1回

「老い」を考える……………8

かすみケアグループの
認知症への取り組み……………9

管理栄養士監修 レシピ Kasumi Keittiö

「茗荷と夏野菜のピクルス」……………11

“もの忘れ外来”を開始 高齢者診療にも 注力しています



かすみケアグループ
医療法人真正会 霞ヶ関南病院 病院長

海津 啓之

2022年は6月からとても暑い日が続きましたね。1990年ころから最高気温が35℃を超える日が多く観測されるようになり2007年からそれを気象用語で猛暑日と呼ぶようになったとのことです。今年、関東ではその猛暑日が今までで最も多くなりました。秋が待ち遠しい毎日ですが、体調はお変わりなくお過ごしでしょうか。

そして猛暑に加え、巷の話題といえばこの2年半、コロナコロナです。この夏はどこを見ても猛暑とコロナの話題が尽きません。皆さまにおかれましても猛暑もコロナも気にはなるが、飽き飽きしてきて答えの不確実な情報はもうたくさんという心持ちではないでしょうか。そういうわけで、個人的見解は諸々ございますがその話題は横においておくことにします。

当法人は長年にわたり脳血管障害や運動器

疾患に対するリハビリテーションはもちろんですが高齢者診療にも力を注いできております。ますます高齢化社会が進み当院の必要性はより高まっていると感じておりました。そこで当院では今春から認知症、睡眠障害に造詣の深い長島先生を迎え“もの忘れ外来”を開始しております。年齢を重ねて、心や身体に不安を抱えることが増してくると思います。ご本人はもちろんご家族、近隣の方など、ご心配事があればご相談ください。

加えて、日々の診療をより円滑にし、快適に受診していただくために新たな診療体制構築に向けての計画が順調に進んでおります。その具体的な内容は近々お知らせできると思います。

厳しい環境の世の中ですがご自愛くださり、これからも真正会の成長を見守っていただければ幸甚に存じます。

一緒に悩みながら考えていきたい

皆さま、はじめまして。もの忘れ外来を担当しております、長島と申します。これまで私は、埼玉県や東京都の複数の認知症疾患医療センターで、認知症疾患を中心に診療を行ってきました。その中で、もの忘れなど認知機能に関わる症状の診察、生活障害の評価のほか、行動や心理面の症状、ご本人と周囲の人との人間関係、ご本人・ご家族の生活の質など、様々なことを考える機会が多々ありました。これらをどのように捉えて、どのようにしたらより良い生活に繋がられるのか、なかなか答えが出ないことが実際は少なくありません。一緒に悩みながら、考えていければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



医療法人真正会
霞ヶ関南病院 医師

長島 一公

担当科：もの忘れ外来(老年精神科)

●専門分野：認知症、精神医学

●所属学会・資格等：日本認知症学会(専門医・指導医)、日本精神神経学会(専門医・指導医)、日本神経病理学会、日本神経心理学会、日本高次脳機能障害学会、精神保健指定医、認知症サポート医、難病指定医など

■ 小児BLS研修の様子

医療法人真正会保育室、保育士9名 2022年7月12日、13日の2日間 「小児BLS(一次救命処置)研修」を体験しました

法人の職員のお子さま、0歳児～小学生の子どもたちが利用する保育室で、大切な命をお預かりしています。保育の現場はたくさんの危機が常に身近にあることを念頭におき、今回の講習を受講させていただきました。乳幼児は、床に落ちているものやおもちゃを口の中に入れてしまったり、食事やおやつ

時は、勢いよく飲み込んでしまいそうになったりと、ヒヤッとすることが今までもありました。

絶対にあってはならないことですが、もしもの時…冷静な判断で行動ができるよう、日頃から保育士のチーム力を高めていき、子どもたちの大切な笑顔を守って行きたいと思います。



※BLSとは、Basic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。



令和4年7月18日(月・祝)に「ふれあい看護体験」を開催しました

「ふれあい看護体験」とは、“施設見学や看護体験など、各施設での工夫を凝らしたプログラムを通じて、看護職を目指す中学生・高校生をはじめ、さまざまな世代の人たちに看護の魅力を伝え、看護職やその仕事について理解を深めてもらうイベント”です(毎年、全国の医療機関や介護施設などで開催されます)。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数を制限し、高校生を対象としての開催となりました。

体験ブースは、「採血」、「血圧測定」、「BLS(胸骨圧迫やAEDの使用体験)」、「手指消毒」、「PPE(個人用防護具)の着脱」の5箇所を用意しました。参加された高校生の皆さんが各体験ブースで真剣に取り組む姿は、未来の看護師が想像され、微笑ましくもあり、また頼もしくも思いました。

体験後は、ボランティアで参加してくれた現役の看護学生から実際に看護学校での学生生活の話を聞いたり、勉強方法や研修などの、より実践的な質疑も交わされていました。

このような活動から、未来の看護師がきっと、たくさん生まれてくれることでしょう。



『ハウスカマルシェ』にお越しく下さい



ハウスカすみ野では毎日近隣の農家さんに野菜を提供していただき、さらに月1~2回 第3土・日曜日を中心に『ハウスカマルシェ』を開催しています。

新鮮野菜に加えて、完全有機野菜や農法、肥料にこだわって育てている市内の若い農家さんから直接

仕入れた、普段スーパーマーケットでは見かけない野菜や旬の野菜、果物があります。百貨店に卸している、あるいはホテルやミシュランの星付きレストランに卸しているなど「美味しいこと間違いなし」の信頼おける農家さんばかりです。

また、農家さんに教わった美味しいレシピや保存法をご紹介するなど、情報も提供しています。

野菜の販売だけでなく、季節のお菓子やご当地ものなど趣向を凝らした品物の販売もあわせて企画しています。現在は「苔玉」を新潟県の阿賀の苔玉を取り寄せて販売しています。

そんな楽しい『ハウスカマルシェ』に皆さまぜひお越しく下さい！



農家さんご紹介

【川越市】 鈴木さん、森田さん、利根川さん、沼田園さん

【狭山市】 松本さん、くずりゅうさん

【マルシェ時】 赤一商店さん、小野農園さん、たばちゃん農園さん、なるかわ農園さん、ふちな農園さん、川越まごころファームさん、ままざめファームさん





健康のキホン



医療法人真正会
霞ヶ関南病院 医師
根元 洋光

使った患者さんに実際に効果が！

バーチャルリアリティを 利用したリハビリについて

つい先日、横浜で開催された日本リハビリテーション医学会学術集会に参加してまいりました。脊髄損傷に対する再生医療や、脳卒中に対するニューロモジュレーションなど様々なトピックがありましたが、その中でももっとも興味深かったのがバーチャルリアティ（VR）を活用したリハビリです。

VRは、目の周囲を完全に覆うタイプのゴーグルを装着して、3次元の異世界に入り込んだ感覚を作り出すシステムです。みなさんも、VRを使ったゲームなどは目にしたことがあるかもしれません。医療業界では、リハビリ以外に、外科医の手術トレーニングや、熱傷による疼痛の緩和などに使われています。

私は以前に学会で、mediVRというベンチャー企業が開発した「カグラ」というVRリハビリ機器を体験したことがありました。椅子に座って3Dゴーグルを装着すると、人や物でごちゃごちゃとしていた学会場から、いきなりシンプルな白一色の小部屋へと放り込まれます。そこから周囲が突然森に変わったかと思うと、ゲームがスタートします。木の上をリスが駆け回って、あちこちから落としてくる木の実を、手を伸ばしてキャッチするゲームです。シンプルですが、左に落ちてきた木の実に気を取られていると実は右側にも落ちてきていたり、まだ40歳ちょっとの私でもけっこう集中力を試されました（後からわかったのですが、私がやったのは高難度モードで、患者さんは通常、グレー一色の空間の中に現れる赤または青の大きなターゲットをタッチするというシンプルモードから開始します。徐々にターゲットを小さくしたり遠くしたり左右に振ったり、背景を複雑にしたりして難易度を上げていきます）。

ゲーム感覚でリハビリできて面白いなという程度の印象で記憶には残っていたのですが、今回の学会でカグラ開発者による講演を聞いて、またガラッと印象が変わりました。「15分カグラをやっただけでこんなに体が動くようになりました！」的な劇的ビフォーアフター動画が次々紹介されていたのです。しかも、「嘘だと思うのならやってみろ」と言わんばかりに、希望すれば一定期間レンタルしてくれるとのこと。自信满满なのです。

であればやってみようじゃないかと学会直後に早速mediVRに連絡を取り、4週間レンタルさせていただけることになりました。これを書いている現時点ですでに2週間強使っていることになってますが、驚いたことに、使った患者さんは本当に、なぜか不思議とよくなっています。それもよくなる症状が一つではないのです。体の動きだけでなく、注意力や空間認識といった様々な認知機能まで改善します。意識障害でぼーっとしてしまったり、注意が周囲に分散してしまったりして、通常のリハビリがうまく行えていない患者さんでも、カグラだと反応して手を伸ばしたりするのです。そして終わった後も反応や表情が増えたりといった効果が持続しています。考えてみたら、グレー一色の世界の中で、目の前にいきなり赤いターゲットが現れたら、手を伸ばしたくなるものかもしれませんね。こういった環境は、ごちゃごちゃした現実世界ではなかなか作り出せないと思います。

体の動きに関して言えば、体全体の力が抜けること、体幹が上手に使えるようになること、この2つの効果が顕著です。やっている最中から無駄な力が抜けていくのが見ていてわかります。そして、腕だけでなく体全体をうまく使ってタッチしに行くようになり



カグラ使用中の患者さん：3Dゴーグルを装着し、両手にコントローラーを持って行きます（このかたは右手の麻痺があるため上腕に装着しています）

ます。終わった後テストすると、確かに手の作業がスムーズになったり、座ってやるリハビリなのに歩行スピードが上がったりしますが、これらは上記2点の効果に還元されるのではないかと考えています。

何故カグラは体幹が使えるようになるのか。これも、やはり視覚情報の大胆なカットがポイントだそうです。実はカグラでは、周囲の雑多な物だけでなく、なんと自分の体も見えなくなってしまう。ターゲットにタッチしようとして腕を伸ばしても、見えるのは手に持ったコントローラーだけという不思議な感覚です。視覚が制限される分、体から伝わってくる感覚（固有感覚）が研ぎ澄まされるのかもしれませんが。

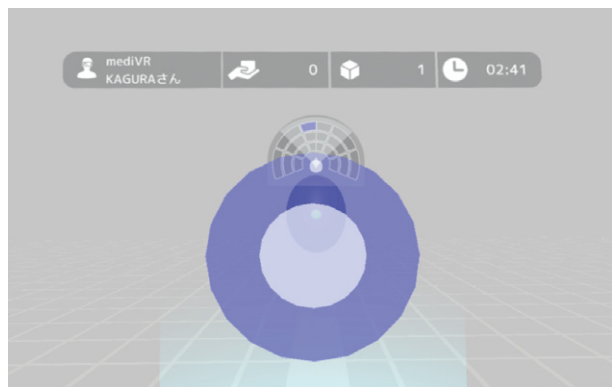
人間は五感の中で特に視覚に頼っている動物です。「見る」ことは人にとってとても大事な情報源です。自分の体の一部を「見る」ことで、脳や脊髄の運動制御システムをその部位に集中させて、制御精度を上げることもできます。例えば、足を見ながらバッティングの際の踏み込みを反復したり、鏡を見ながら体幹の動きを練習したり。

しかし案外、過剰な視覚情報が正しい動作の習得を邪魔している面もあるのかもしれませんが。例えば私

のゴルフは、身体じゅう、特に腕に無駄な力が入っていて、手で打ちにしているとコーチからよく言われます。重要なのは、腕の力を抜いて体幹の力をうまく使うことと、いかにクラブに効率的な動きをさせてヘッドスピードを上げるかだと言われます。しかし私に言わせれば、体幹を意識しろといわれてできるなら苦勞はしません。打っている最中に自分で自分の体幹を見ることはできないわけですから。目に入るのは主に、ゴルフクラブとそれを握っている腕です。テイクバックに入れば一度腕も視界から消えますが、インパクトの瞬間にまた戻ってきます。これを視覚に頼って調整しようとするれば、脳はどうしても腕に過剰に集中してしまうでしょう。

そこで思いました、これはカグラだと。逆に腕も見えなくしてボールとクラブヘッドだけにしてしまえば、腕への過剰な集中が解消されて全身の効率的な動きを学習しやすくなるのではないのでしょうか!?かなりの時間解像度が要求されるため技術的には難しいのかもしれませんが、実現したら私は来月には400ヤード飛ばしているかもしれません。

いつの間にかゴルフの話になっていましたが、このように妄想が広がってしまうほど、色々な分野での可能性を感じさせるVRでした。今後の発展、展開がとても楽しみです。



患者さんに見えている映像：最もシンプルなモードの映像。この的の真ん中をめがけてコントローラーを持った手を伸ばします

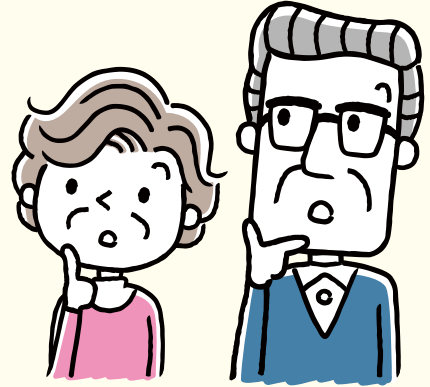
地域リハビリテーション推進部

作業療法士／介護支援専門員／認知症ケア専門士／心理カウンセラー（初級）

中間 浩一

「老い」を考える

～「老い」(シモーヌ・ド・ボーヴォワール)から学ぶ～



ひとは誰でも年をとります。今回と次回、「老い」について、シモーヌ・ド・ボーヴォワールの著作から学んでみましょう。

シモーヌ・ド・ボーヴォワール(以下、著者)が「老い」を書いたのは62歳。ちょうど老いへの境目に入ったときでした。この本が出版された1970年頃、フランスでは「老いについて語ることは不謹慎である」と言われており、「自分がこのテーマで書いていると言うと、『何と陰気な主題だ』と言われた。だからこそ、私はこの本を書く」と言っています。出版当時、フランスの老人の比率は世界で最も高く、12%でした。

ケンブリッジ大学のある人類学者は「変化が速い社会において、人間があまり長く仕事に従事してはならず、55歳を過ぎたものは廃品とされるべきである」と言いました。この言葉を受けて著者は、「老人は貧窮、孤独、疾患と絶望に追いやられている」「消費社会において、老いた人たちは人間ではないかのように扱われているが、私たちが年老いた人たちの声を聞いたならば、それがまぎれもなく人間の声であると認めざるを得ない」と言っています。文明社会でありながら、老いた人間を厄介者にして廃物扱いする。このように老人を扱うことは、文明の言語道断な事実(スキャンダル)であるとし、「老いは、個人の問題ではなく、社会

の問題である」「厄介者になった高齢者をどう扱うかで、その社会の質が測られる」と主張しています。

「老い」は、上・下巻(670頁)で、二部構成になっています。上巻(第一部)は、「他者の眼に映る姿」の観点から、生物学、民族学、歴史などが「老い」について、どのように扱ってきたかを分析し、下巻(第二部)では、「人々の心の中から老いを見ていく」というかたちで、作家、学者、政治家など、さまざまな分野の人物について、それぞれの老いを描いています。

「老い」は誰もが抗えない衰えの過程です。次回には、「老い」の内容に触れながら、具体的に「老い」について考えていきたいと思います。



シモーヌ・ド・ボーヴォワール 「老い」(上・下)(新装版)
人文書院、2013

かすみケアグループの 認知症への取り組み

かすみケアグループでは、2022年4月より認知症専門医が入职し、診察を行っています。

今後は、グループとして、認知症について、

より手厚い医療やケアの提供ができるようにしていきたいと考えています。

認知症については、「早期発見・早期介入」の大切さが指摘されています。

今回は、認知症専門医から早期介入の意義についてお話をさせていただきます。

認知症に対する早期介入の意義 ～BPSDの視点から～

認知症に対する早期介入が重要、と言われることが多い昨今ですが、どのような意義があるのでしょうか。

その答えはさまざまでしょうが、治療可能な脳神経外科や内科の病気の除外、診断に基づく治療・ケアの方針やライフプランの立案、BPSDへの早期対応、などが挙げられるかと思えます。いずれも、ご本人やご家族の生活の質に関わる重要なものです。

この中で今回は、あまり聞き慣れないBPSDについて、お伝えしようと思います。BPSDとは Behavioral Psychological Symptoms of Dementiaの略で、「認知症の患者さんに頻繁にみられる知覚、思考内容、気分または行動の障害による症状」のことです。今から約四半世紀前の1996年に開催された国際老年精神医学会の会議で、“behavioral psychological signs and symptoms of dementia”という

用語が提唱されたのが由来です。

その後、signが除かれ、BPSDという現在の用語になっています。

この用語が作られた第一の理由は、認知症に治療や予防が可能な症状があることを知ってもらうためです。実際、BPSDは、治療や予防が可能であることが知られています。もう一つの理由は、BPSDが重要な症状であること、すなわち、予後を悪化させ、ご本人やご家族の生活の質を低下させ、早期からの施設入所の原因となる症状であることが、1980年代頃から徐々に分かってきたからです。もの忘れなどの認知機能面での症状が「私」という根源的な存在を脅かすのと相まって、ご本人と周囲の人との関係がこじれてしまう場合もあります。これらの点で、早期介入が重要なのです。

BPSDに対して優先される治療は、お薬以外の治療で、介護者



日本認知症学会専門医
長島 一公

教育や環境調整、音楽療法などが有効な治療方法であることが知られています。治療の進め方としては、認知症の原因となっている病気やその特徴を正しく理解してもらい、それに基づき介護保険サービスの利用を含めた環境の調整を行い、それでも無理なら注意しながらお薬を使っていきます。

生活の質、とりわけ、ご本人やご家族の当たり前の生活がなるべく維持できるように、早めにご相談いただければ幸いです。

霞ヶ関南病院

外来担当医のご案内

- 受付時間……………〔午前〕 8:30～11:00
〔午後〕 13:30～16:30
- 診察開始時間……〔午前〕 9:00
〔午後〕 14:00

2022年8月10日より

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	池田 弘	伊藤 薫	海津 啓之 田川 慧	井上 和之 (第2、4週) 徳永 貴久 (第1、3、5週) 伊藤 雅美	大谷 真貴子 伊藤 薫	埼玉医大総合 医療センター
	午後	(担当医)	伊藤 薫	田川 慧	井上 和之 (第2、4週) 氏原 匡樹 (第1、3、5週)	伊藤 薫	
脳神経外科	午前			(海津 啓之)			
	午後		海津 啓之		氏原 匡樹		
糖尿病内科 (完全予約制)	午前		(伊藤 薫)	松本 博	(井上 和之) (第2、4週)	(伊藤 薫)	松本 博 (第2、4週)
	午後		(伊藤 薫)	松本 博	(井上 和之) (第2、4週)	(伊藤 薫)	松本 博 (第2週)
皮膚科	午前	太田 房代	太田 房代	佐藤 綾子	太田 房代	太田 房代	
	午後	太田 房代	太田 房代			太田 房代	
眼科	午前			井川 佑郎	橋本 加奈 (診察開始9:30～)	木下 望	
	午後			井川 佑郎		木下 望	
神経内科 (完全予約制)	午後		古川 義浩				
整形外科 (完全予約制)	午前	渡邊 芳子		渡邊 芳子		渡邊 芳子	
	午後				渡邊 芳子 (隔週)		
アンチエイジング (完全予約制)	午前				滝本 磨理香		
	午後				滝本 磨理香		
泌尿器科 (完全予約制)	午前						清水 浩一 (第1週)
検査 (完全予約制)	午前				胃カメラ		
	午後	心エコー					
もの忘れ外来 (完全予約制)	午前	長島 一公				長島 一公	
	午後			長島 一公		長島 一公	
在宅ケア 相談外来 (完全予約制)	午前		斉藤 正身	斉藤 正身		斉藤 正身	
	午後	新美 芳樹	斉藤 正身	斉藤 正身			
歯科 (完全予約制)	午前	清水 良昭	清水 良昭	清水 良昭	中山 京英	清水 良昭	
	午後	清水 良昭	清水 良昭	清水 良昭	中山 京英	清水 良昭	

その他検査について

- MRI検査、CT検査、超音波検査等：随時
- 視野検査は眼科診察時に要予約

※各科、休診の場合がございます。

※川越市特定健康診査、個別がん検診(完全予約制)

外来直通電話 ☎049-239-7272

※詳しくは外来受付までお問い合わせください。

- 休診の情報はホームページからご覧いただけます。

https://kasumi-gr.com/kasumi_south/outpatient/day_off/

こちらのQRコードからご覧いただけます



元気においしく！
管理栄養士
監修レシピ



Kasumi
Keittiö

カスミ・ケイッティオ

かすみケアグループの
管理栄養士がおすすめする、
この季節にぴったりの
ヘルスケアレシピを
ご紹介します。

Keittiöは「台所」を意味する
フィンランド語

体がだるくなりやすい季節にさっぱりといかがですか!?

みょうが 茗荷と夏野菜のピクルス



夏野菜と家庭でもよく使われる穀物酢、黒こしょう、ローリエを使ったピクルスです



みょうがの香り成分には消化促進と食欲増進の効果があります



酢には疲労回復効果があるアミノ酸とクエン酸が豊富に含まれています

●材料(作りやすい量)

みょうが……5本
パプリカ(黄)……1/2個
きゅうり……1/2本
ミニトマト……5個
穀物酢……200ml
砂糖……大さじ3
塩……小さじ1/2
黒こしょう……少々
オリーブオイル……大さじ2
ローリエ……1枚

- 1 みょうがは縦半分、パプリカはヘタと種を取って千切り、きゅうりはヘタを取り長さを4等分し、縦に4等分、ミニトマトはヘタを取る。
- 2 調味液を混ぜ合わせて、電子レンジ600Wで30秒加熱し、砂糖と塩が溶けるまで混ぜる。
- 3 ①を②に2時間から半日程度漬け込む。



医療法人真正会 管理栄養士

砂田 理恵

ピクルスは、歯切れの良い野菜類を種々のスパイスを入れた酢に漬けたものです。スパイスには料理の風味を変えるだけでなく、食欲増進、消化作用、殺菌などスパイスごとに様々な効果があります。また、酢に含まれるアミノ酸とクエン酸には、疲労を感じる元である乳酸をスムーズに代謝させ、疲労回復の効果が。さらに、みょうが特有の香り成分であるαピネンには、胃液の分泌を促し消化を良くするとともに、食欲増進の効果があります。夏はもちろん、猛暑でたまった疲労と残暑が厳しいこれからの季節にもぴったりな組み合わせです。

かすみケアグループのご案内



社会福祉法人 真正会

- **介護老人福祉施設 真寿園** 〒350-1173 川越市安比奈新田292-1
 - 介護老人福祉施設……TEL.049-234-8838
 - デイサービス真……TEL.049-239-3581
 - デイサービス寿……TEL.049-277-7315
 - 短期入所生活介護……TEL.049-233-3661
 - 居宅介護支援事業所 真寿園……TEL.049-234-4140
- **ケアセンターよしの** 〒350-0844 川越市大字鴨田3355-1
 - デイサービスセンターよしの……TEL.049-223-3288
 - 居宅介護支援事業所よしの……TEL.049-225-1166
 - ホームヘルプサービスよしの……TEL.049-226-2163
 - 川越市地域包括支援センターよしの……TEL.049-298-7807
- **ケアセンター小仙波** 〒350-0031 川越市大字小仙波947-1
 - デイサービスセンター小仙波……TEL.049-227-5050
 - 居宅介護支援事業所小仙波……TEL.049-227-5151
- **アダーズあいな グループホーム** 〒350-1173 川越市安比奈新田278-2 TEL.049-237-2770
- **川越市地域包括支援センター小仙波** 〒350-0034 川越市仙波町3-16-13 ウエルズ21川越 B02 TEL.049-227-7878
- **川越市地域包括支援センター分室 みなみふるや** 〒350-0024 川越市並木新町2-5 桜ビル TEL.049-235-7731



医療法人 真正会

- **霞ヶ関南病院** 〒350-1173 川越市安比奈新田283-1 TEL.049-232-1313 (代表) TEL.049-239-7272 (外来専用)
入院 (医療療養病棟、障害者施設等一般病棟、回復期リハビリテーション病棟)、外来
 - 通所リハビリ・デイホスピタル……TEL.049-232-1400
 - 健康増進施設 SKIP トレーニングセンター……TEL.049-232-1313
- **霞ヶ関在宅リハビリテーションセンター** 〒350-1173 川越市安比奈新田259-2 TEL.049-231-5121 (代表)
 - 通所リハビリ デイリビング……TEL.049-231-5123
 - 霞ヶ関中央クリニック 訪問医療、訪問リハビリ……TEL.049-239-3353
 - 訪問看護ステーション・スマイル……TEL.049-233-2525
 - 訪問介護 コール、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 コール……TEL.049-233-8341
 - 居宅介護支援事業所しんしあ……TEL.049-239-3560
- **ケアラウンジ南大塚** 〒350-1165 川越市南台2-11-4 南台ハイツ1F
 - 通所介護 ケアラウンジ南大塚……TEL.049-238-1188
 - 川越市地域包括支援センターだいとう……TEL.049-249-7766
- **川越市地域包括支援センターかすみ** 〒350-1174 川越市かすみ野2-1-14 TEL.049-234-8181



一般社団法人 Hauskaa

- **Hauskaa かすみ野** 〒350-1174 川越市かすみ野1-1-5 TEL.049-233-9265 (代表) TEL.049-239-3933 (賃貸住宅運営)
(介護予防) 福祉用具貸与/特定(介護予防)福祉用具販売/住宅改修事業所/賃貸住宅運営/
Rikas カフェ、焼きたてパン、北欧雑貨、駄菓子

Web & SNS は
こちら!

社会福祉法人
真正会

www.shinjukai.or.jp

検索 社福真正会



医療法人
真正会

www.kasumi-gr.com

検索 医療真正会



一般社団法人
Hauskaa

hauskaa.jp

検索 ハウスカ



Web



Facebook



Instagram

新型コロナウイルス 感染拡大防止のための 対応について

日頃より当グループの感染症対策にご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。
今後も皆さまのご協力とともに、安心して医療・介護サービスを受けていただけますよう、
安全で適切なサービス提供を心がけてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。



今号の表紙写真は……

今号の表紙は、リニューアルされた霞ヶ関南病院1Fにある総合案内の写真です。センターには大きなスタンドとともに季節の花が飾られています。病院を訪れた際に真っ先に目に入り、少しでも気分が癒されるようにと、エントランスの正面に設置しています。左の写真は、受付窓口の中から撮影したもので、一般の方はなかなか見られない角度だと思いますが、窓口の担当者もこの花に日々癒されています。

Wa!とは?

手に手をとる“輪”、みんなの“和”、喜びの“わあ!”を、表現しています。かすみケアグループは、「Wa!」を通じて地域の皆さまに、保健・医療・福祉に関するお役立ち情報をお届けいたします。

かすみケアグループの情報をお届け

Wa! [ワ!] vol.47 2022 Summer
発行：かすみケアグループ